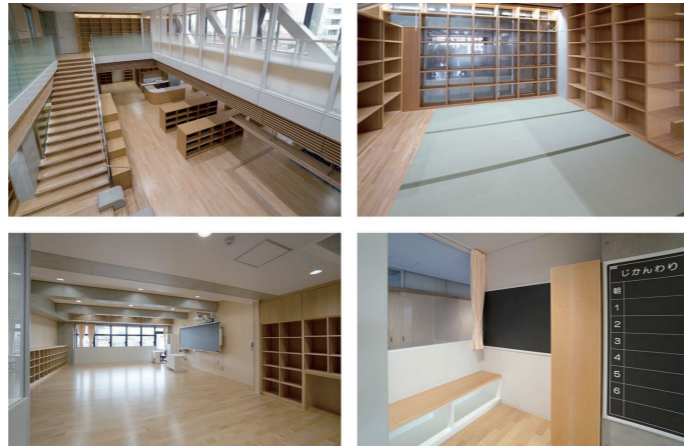


豊島区立池袋第一小学校



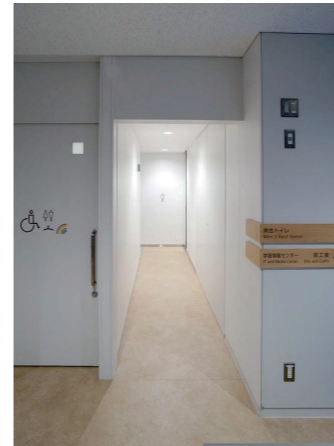
外観

地域、保護者、学校関係者の思いが詰まった区内小学校初の5階建ての新校舎。都心にありながら「森の中の学校」をコンセプトに、子どもたちがさまざまな樹木や自然に触れられる、ワクワクしながら通える校舎が完成した。

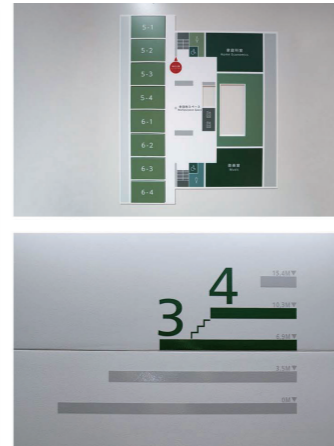


学習情報センター・教室

校舎内も木の温もりが感じられる。ピオトープや各特別教室に隣接する3、4Fの学習情報センターには、書籍やタブレット端末を使って活動ができる多様な空間を完備。各教室には、クールダウンができる一角がある。



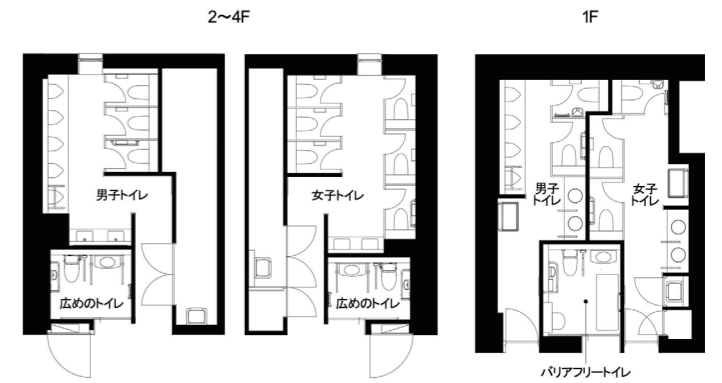
2-4F トイレ入口・案内図・階段室サイン



トイレ入口には、どの角度からでもトイレを見つけやすいサインパネルを配置。また「森の中の学校」を意識し、階段室のサインには標高が記されている。

トイレ図面

教室がある2-4Fは、男子トイレと女子トイレの位置を上下階で互い違いに振り分け配置し、どこからでも利用しやすい動線とした。また、将来対応として改修が行われる際にも利用しやすい配管配慮がされている。



水まわりの特長

建物の特徴

豊島区では、2008(平成20)年に「豊島区立小・中学校改築計画」を策定。30年間の計画期間を前期・中期・後期の3期に分け推進。中期に該当する「池袋第一小学校」は、改築するにあたり地域や保護者の方などと協働して学校づくりのために設立した「池袋第一小学校の建替え等を考える会」からの提言書に、教育委員会が積み上げてきた学校改築のノウハウを加味し「豊島区立池袋第一小学校改築基本構想・基本計画」を策定。子どもたちがさまざまな樹木や自然などに触れられるよう、各階のテラスに植樹したほか、3Fテラスにはピオトープを配置。都心に近い環境ながら、「森の中の学校」をコンセプトに、地域、保護者、学校関係者の思いが詰まった区内小学校初の5階建ての新校舎が誕生した。

水まわりの特長

豊島区では、2016(平成28)年より全区立小中学校のトイレを快適なトイレに改修する「学校トイレ緊急改善推進事業」計画に則り、区内の全小中学校トイレを全洋式化を推進。また家庭での普及率が高い、温水洗浄便座を大便器に標準装備とするなど設備の充実が図られている。今回改築した池袋第一小学校では、多様なニーズへの対応として、教室がある2-4Fには、集団での着替えに抵抗がある児童などに対応したフィッティングボードを設置し、性別を問わず使える広めのトイレを配置するなど、これからの時代を見据えた配慮を備えている。さらに、防災拠点としている1Fには、オストメイトや大型ベットの整備されたバリアフリートイレや乳幼児連れに配慮した男女別トイレを完備している。

建築概要

名称	豊島区立池袋第一小学校
所在地	東京都豊島区上池袋4-28-1
施主	豊島区
設計	株式会社 石本建築事務所
施工	建築 株木・アクア特定建設工事共同企業体 電気 愛工大興・中央特定建設工事共同企業体 空調 菱和・初見特定建設工事共同企業体 衛生 菱機・ローヤル特定建設工事共同企業体

竣工年月	2022年8月
敷地面積	6,216.08㎡
建築面積	2,788.91㎡
延床面積	7,954.31㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階

おもなTOTO使用機器

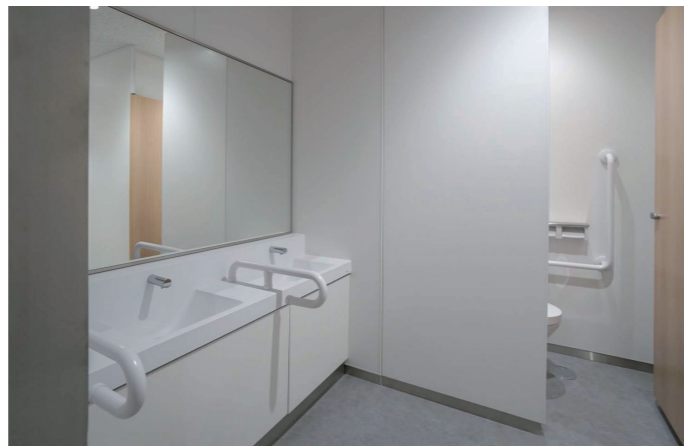
フラッシュバルブ式便器:C550NU、C426R、C480AN/ウォシュレットP:TCF5820R系
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5820R系
棚付二連紙巻器:YH702/自動洗浄小便器:UFS900JS
ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ):MKWD/台付自動水栓:TEN87G1
壁付自動水栓:TENA13AL/水栓金具:TKS05305J系
コンパクトオストメイトパック:UAS81LSC1NW/収納式多目的シート:EWC520BRS
ベビーチェア:YKA15S/フィッティングボード:YKA41R



2-4F 広めのトイレ



2-4Fには、車いす使用者のほか性別を問わずに使えるよう着替えなどができるフィッティングボードを設置した広めのトイレを配置。ウォシュレットのリモコンはボタンを押すたびに発電するエコリモコンを採用している。



2-4F 洗面コーナー

カウンターの奥行きが450mmとコンパクトサイズでありながらも深いボウルでしっかり手洗いすることができるツインデッキカウンターを採用。洗面、小便器、大便器の各コーナー1ヶ所には手すりを完備している。



2-4F 小便器コーナー・大便器ブース



白を基調とした清潔感あふれる空間。木目調の扉がアクセントの大便器ブースには洋式便器を採用し、擬音装置「音姫」付きのウォシュレットPを設置。また、大便器、小便器ともに清掃性に優れた壁掛型を採用している。



2-4F 手洗いコーナー



多様な使い方に対応できるよう自動水栓とハンドル水栓を設置したオープンスタイルの手洗いコーナー。トイレ混雑時にも対応できるよう、トイレ出入口の正面にも配置している。

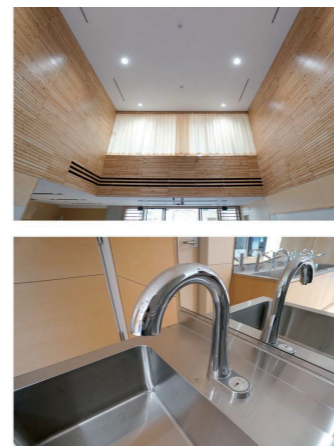


1F トイレ

防災拠点として、体育館や防災関係の倉庫などが配置されている1Fのバリアフリートイレには、多様な利用者に配慮しオストメイトや大型ベットを設置。さらに、男女トイレには乳幼児連れに配慮した器具を完備している。



1F 多目的室
手洗いコーナー



地域開放もされる多目的室には、手洗い以外にも使用できるように、シャワー付きのキッチン水栓と、ボタン操作で連続吐水ができるグースネックタイプの自動水栓を設置した手洗いコーナーを配置している。